

令和5年2月8日（水）

「場を清める」

先週は、「時間の大切さ、時を守る」ことについてお話ししました。

今週は、「場を清める」ことについてお話しします。

私は、自分が学級担任だった頃、目指したい学級の姿の一つとして、必ず、「掃除を一所懸命できる学級」というものを掲げていました。ねらいは大きく次の2つでした。

- 1 教室内の机、椅子、カバン棚はもちろん、掃除用具棚に至るまで、常に整理整頓を意識することで、教室内の適度な緊張感と集中力が養われるのではないか。
- 2 ゴミ一つでも落ちていればすぐに気付き、指示されずともゴミ箱へ捨てることができる生徒たちなら、人やもの、さらにお互いを大切にできるのではないか。

以上のような考えから、教室はもちろん、廊下、階段、トイレ、校庭・・・すべての場所について、自分ができる最大限の掃除を行うよう指導を続けました。

その他にも日直や教科連絡の仕事として、授業後の黒板消し（きれいな黒板、チョークの粉のない溝、きれいに並んだチョーク）を徹底してもらうようにしていました。これは、次の授業をしてくださる先生が、気持ちよく生徒たちに指導をしてもらえるように考えてのことです。

こういった指導を続けていくと、すぐにではありませんが、少しずつ学級の雰囲気が変わり、3月を迎えるころには、2つのねらいが達成されるようになっていきました。

皆さんには4月7日の今週の一言で「教室の残り香」という言葉で伝えています。

皆さんの学級は、「場を清める」ことができていますか？もし、まだ不十分だと感じるなら、ぜひ、みんなで協力して、掃除を一所懸命頑張ることからスタートしてみましよう。この時のポイントは、言われたことを言われただけ・・・ではなく、「いつもの作業に加えて、他にできることはないか？」と考え、実際に作業を行うということです。

この1年で皆さんは精神的、身体的に大きく成長してきました。1年の締めくくりとして、改めて「時間を守り」、「場を清める」ことを意識して生活してみましよう。